日本経済の現状と金融の役割

日本経済は堅調な改善が続いており、全体としてみる限り、決して悪くはありません。一方で、賃金や物価はなかなか高まらず、景気回復を実感しにくいのも事実です。なぜ人々は消費に慎重なのか。なぜ賃金や物価は上がりにくいのか。全体として日本経済のパフォーマンスをどう評価すればよいか、といった問題をまず考えます。

金融の役割についてはどうでしょうか。金融には、おカネの貸し借りの面と、おカネそのものの面があり、どちらも消費者や企業の活動を支える「重要な脇役」です。しかし、脇役が行き過ぎればバブルが発生し、委縮しすぎればデフレをもたらします。「異次元の金融緩和」がこれまで果たしてきた役割と今後の課題について検討します。

平成30年
11/14（水）
午後4時▶午後5時20分

定員200名（一般・学生）
参加費無料
事前申し込み不要

講師：宮尾 龍蔵氏

（東京大学大学院経済学研究科教授、元日本銀行政策委員会審議委員）

＜略歴＞

1987年	3月	神戸大学経済学部卒業
1989年	3月	神戸大学大学院経済学研究科博士前期課程修了
1989年	11月	神戸大学経済経営研究所　助手
1994年	11月	ハーバード大学大学院修了（Ph.D. in Economics）
1995年	4月	神戸大学経済経営研究所　助教授
2003年	4月	同 教授
2008年	4月	同 所長
2010年	3月	日本銀行政策委員会　審議委員
2015年	3月	東京大学大学院経済学研究科　教授

＜受賞歴＞

2006年	日経・経済図書文化賞
2007年	村尾育英会学術賞
2010年度	日本経済学会石川賞

お問い合わせ先：
公立鳥取環境大学 学部・センター事務室
〒689-1111鳥取市若葉台北一丁目1番1号
電　話：0857-32-8814　FAX：0857-32-9120
e-mail：g-jimu@kankyo-u.ac.jp

主　催：公立鳥取環境大学
後　援：鳥取商工会議所、鳥取県商工会連合会、鳥取県中小企業団体中央会、鳥取県銀行協会

会場：公立鳥取環境大学 200講義室
（鳥取市若葉台北1-1-1）

公立鳥取環境大学
Tottori University of Environmental Studies